

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		からしだね (放課後等デイサービス)		公表日		2026年 3月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・どちらともいえない(3) ・活動目的に応じて過ごせるように部屋の配置を工夫している・一対一に対応することにより利用者さんへの理解を深める努力をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・可能な限り1対1で支援できる体制をとっている。・子ども一人にスタッフ一人が担当している。・ご利用者に合わせた職員配置を行っている。・関係機関との連携を取ることが大切だと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・どちらともいえない(2)・ご利用者の状態により個別対応も行う。	・なるべく刺激を与えないよう工夫はしているがスペースが十分ではないので怪我などのリスクを念頭においている。・出入口のバリアフリー化が十分ではない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・どちらともいえない(2)・こども達の成長に合わせて外での活動も取り入れている。・落ち着いて過ごせるようソファなどを用意している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・どちらともいえない(1)	・個室の部屋が十分な環境ではない。・周りの環境から遮断できる場所の確保、もう少し広い場所があれば良いと思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	7		・どちらともいえない(1)・広くは難しいが担当するこどもについては参画する体制を作りつつある。・カンファレンス会議を月1回行っている。・業務連絡等やヒヤリハットの活用をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・現状がわからない(1)・保護者から直接意向を聞ける機会(オープンハウス等)を作っている。・家族に働きかけ父母達の交流の場を持っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・月に一回のミーティングを大切に対応を、共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・どちらともいえない(2)・運営委員会で業務の内容を、知ってもらっている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・外部から講師を招いて研修を随時おこなっている。・自分の学びたい研修を受けさせてもらえる。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・どちらともいえない(1)・必要な資料は回覧して共有。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・親御さんの思いを良く聞き職員に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・どちらともいえない(1)・個別支援計画検討委員会を行うようになった。・複数の職員の意見をまとめている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・どちらともいえない(2)・現状がわからない(1)・それぞれの意見を受け入れ話をしている。	・現在は主に担当者が把握しているにとどまっているのでもう少し広く共有してもらった必要がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・どちらともいえない(2)・現状がわからない(2)・こども一人一人の個別ノートを作り記録している。	・フォーマルなツールを使っていない。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・どちらともいえない(1)・現状がわからない(1)・学校や病院受診時、必要に応じてスタッフが外向き支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・どちらともいえない(1)	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・どちらともいえない(5)・こどものスキルアップにはずっと取り組んでいく方がいいというケースでは固定化している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・どちらともいえない(1)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・どちらともいえない(5)・チームで連携して改善を重ねながら支援しているケースもある。・当日、特に注意が必要なお子さんについては打ち合わせをすることもある。・必ず対面で打ち合わせをおこなっているわけではないが、記録ノートによる連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	・どちらともいえない(5)・担当者が個別ノートに記録することにより共有している。・必要と感じた情報は共通のラインで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・どちらともいえない(1)	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		・どちらともいえない(3)・短時間の支援だが記録を残して対応している。	・地域交流の活動の場がなかなかない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・どちらともいえない(2)		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・現状がわからない(1)	・相談支援事業所がサービス担当者会議を開催していない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・どちらともいえない(2)・現状がわからない(4)	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・どちらともいえない(2)	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		・どちらともいえない(5)	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	・どちらともいえない(1)・現状が分からない(4)	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		2	・どちらともいえない(1)・現状がわからない(5)	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・どちらともいえない(3)・現状がわからない(1)・同じ敷地内にある、マナ愛児園や森の学園の子どもと交流する機会はある。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	・どちらともいえない(1)・現状がわからない(5)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・保護者のお迎え時に保護者から情報を得たりしている。・保護者とのやりとりを大切にしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・現状がわからない(2)・月に1回は保護者家族が自由に参加できる場を設けている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・現状がわからない(3)	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・現状がわからない(1)	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・どちらともいえない(1)・現状がわからない(1)	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	・どちらともいえない(2)・現状がわからない(1)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・どちらともいえない(3)・現状がわからない(1)・マナ愛児園や森の学園の子どもたちが参加する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・どちらともいえない(5)	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	・どちらともいえない(4)・現状がわからない(1)	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・どちらともいえない(2)・保護者からの情報のみ(1)	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・どちらともいえない(1)・現状がわからない(2)	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・どちらともいえない(1)・現状がわからない(3)	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・現状がわからない(1)		